

ゆうかり放送委員会提供

# ゆうかりに乾杯

第89回放送の概要 (2014年11月29日放送)

## パーソナリティ

さくら (安本久美子)  
タロウ (佃 由晃)  
なか (中嶋邦弘)  
あな (岸本幸恵)

## コアラさんの地域瓦版

かりん (妹尾優香)



## ミキサー

門ちゃん (門田成延)

## 相談役

わだかん (和田幹司)

## 会計

小山俊則

(CM) 神戸で乗って一番楽しいタクシーそれはペリーヌタクシーです。優しさと安全・安心を乗せて走ります。観光・ゼミ・研修・福祉輸送等乗れば心温まり、思わず笑みが浮かぶ、心を結び、出会いを作るタクシーです。本日は誇りと信頼の良質なサービスを提供する、ペリーヌタクシー様 (電話078-521-0046) の御協力を頂きました。

## 1. ゲストコーナー(1): 抽象画家・浮世絵蒐集家 中右 瑛さん

浮世絵の蒐集は、40年前の36~37歳頃からで、きっかけは、京都河原町の画廊の浮世絵展で、歌川広重の東海道五十三次展を見た時からである。展示していた10点程を見ると、画集で見たものと同じで、本物かと聞くと勿論本物で、値段が案外良かったので「三島」1点を購入した。三島は、三島大社の前で、朝霧の中旅人が籠に乗り、もう一人が馬に乗り通りすぎる図であった。これは外国に人気のあることが後日わかった。奥さんからいいものを買ったねと喜んでくれた。負担のかからない値段であったので、五十三次の続きものを買いたくなった。しかしなかなか揃わないので別の絵師のものを買った。次に買ったのは、歌川国貞、歌川国芳、溪斎英泉であった。



広重「三島」

浮世絵の歴史は、300年前の忠臣蔵で有名な元禄期に、菱川師宣が井原西鶴、近松門左衛門の小説本にモノクロの挿絵をしていたのが始まり。

本の挿絵が大きくなって独立したもの。初めは浅草にお参りしている人などの群像風俗画に近かった。その後吉原の遊女、荒事で人気が高かった初代市川團十郎の役者絵に変わっていった。

(注)「荒事歌舞伎」とは、「見得(みえ)」や「六方(ろっぽう)」などの演技や、「隈取(くまどり)」をはじめとする扮装によって表現される豪快で力強い芸をさす。



役者絵はプロマイドで、団十郎、半四郎、菊五郎ら人気者が描かれた。モノクロから、初期は手彩色で着色していた。1版で少なくとも200枚刷るので、時間がかかった。その後鈴木春信が色版を始めた。鈴木春信はかわいい女の子を描く絵師で、15~16枚の色版を使った。黒、灰色、濃い赤、薄い赤、黄色、青、黄色と青を合わせて緑など、複合することでカラフルな絵に仕上げた。これまでの1枚版画から錦絵（カラフルな版画）と呼ぶようになった（第二革命）。



鈴木春信

中右さんの蒐集した絵師は、美人画の歌麿、幕末に近づくとも風景画の広重、同様の人気のあった北斎、役者絵は国貞、豊国、写楽などである。写楽は値段が高く、次は歌麿が高い。ベストセラーの風景画は1版で1万枚ほど刷られたので値段が安い。初刷り200枚程は繊細、細やか、



シャープな線が出るので高い。沢山刷ると線が磨滅し、色も繊細でなくなってくるので安くなる。最初に買った三島は、よく見ると後で刷ったものである事がわかった。また保存状態で値段がかわってくる。焼けている、色落ちしている、虫食いしている、汚れている場合は非常に安くなる。蒐集しだすといいものを求めてやめられなくなる。

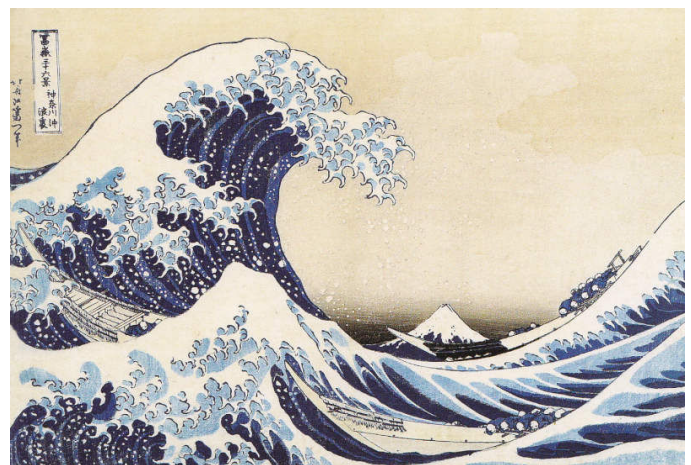
写楽

蒐集したものは3000~4000点になっており、保管は、昔は銀行の金庫が今よりサイズが大きかったので利用していた。金庫は暗く、密室になっており、浮世絵は重ねて保管しても問題ない。今はトラックルームで保管している。



四大浮世絵師展

中右瑛さん所蔵の作品展を、4年前に開催した時の非常に立派な本「四大浮世絵師展」がある。写楽、歌麿、北斎、広重である。展覧会は全国を廻り、兵庫県は姫路の歴史博物館で開催した。特に好きな作品は、広重の雨の図、雪の図など日本人の好む情緒がある。浮世絵蒐集を始める人は、広重から始める人が多い。北斎は



北斎 浪富士

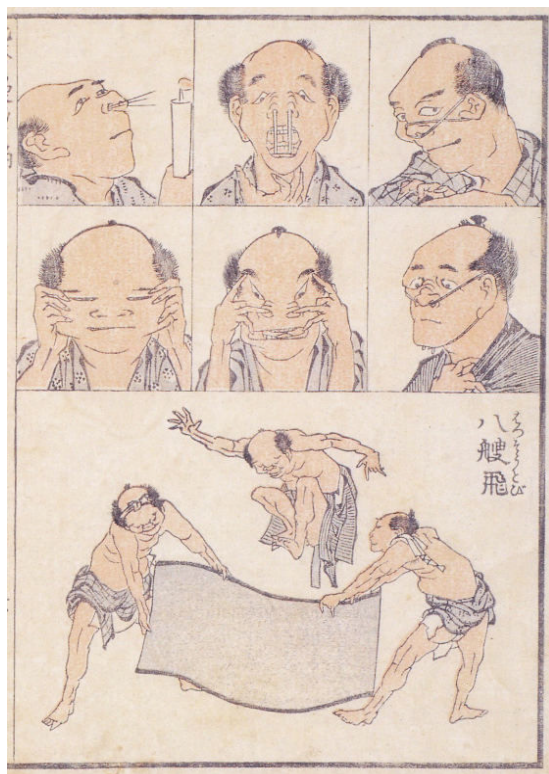


赤富士、浪富士、しかし手に入りにくい。他の絵師の絵も富士山は描かれているので購入している。

北斎は理系、広重は文系と言われるのは、北斎はデッサン力が凄く、構成が上手、真っ赤な富士を描いたり、大きな浪に小さな富士を描いて、宇宙的広さを感じさせる着想の妙意があるので理系、広重は情緒がある。青い空に月がぼんやりした夜景に、男女が歩いているだけでロマンチックさがあり、日本人にはたまらない寂しさを感じさせるので文系と言われる。美人画の歌麿は、太夫と言われる花魁を多数描いている。またミスお江戸と言われるような人気者も描いている。役者絵専門の写楽は、目をむいて大きな口で踏ん張った、それまでにはなかった独特の描き方をしている。役者が舞台上見えを張ってかんでいる姿を描くことで、役者の心理を見事に描写しているというのが外国での評価である。ベラスケス（17世紀、スペイン・バロック期の画家）、レンブラント（17世紀を代表するオランダの画家）に匹敵する三大肖像画家といわれるほど外国で人気がある。



歌麿



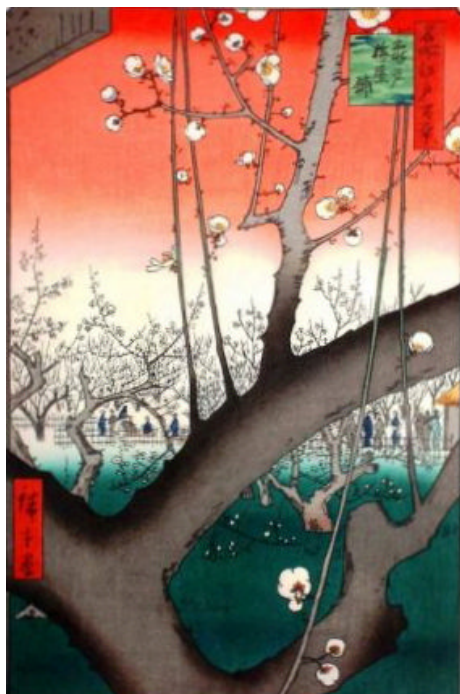
北斎漫画

## 2. ミュージック：枯葉（マンハッタン・ジャズクインテット）

### 3. ゲストコーナ（2）

ジャポニズムは19世紀末（120年前）に、北斎漫画がきっかけとなった。北斎漫画15冊は当時国内で人気があり、幕末明治まで出版された。当時は貸し本が殆どで、残った貸し本は和紙が使えるので、輸出する茶碗の包み紙にした。フランスの銅板画家フェリックス・ブラックモンは花魁や相撲取の描かれた北斎スケッチを見て驚いた。日本の風俗が外国に紹介された初めての時期であった。彼らはカルチャーショックを覚え、当時フランス万博が開催され、エッフェル塔も出来た時で、日本趣味の絵を描くようになった。団扇、扇子、屏風、行燈などを油絵に取り入れた。いま京都文化博物館でジャポニ

ズム当時に描かれた着物を着たマネの絵が展示されている。広重の名所江戸百景のひとつ、亀戸梅屋敷の絵をゴッホは模写をした。ゴッホは自身の絵は売れなかったが、自分の絵と交換に広重などの浮世絵のコレクション（400点）をしていた。コレクションには北斎の絵は少ないのは、高かったためと思われる。印象派の大家ゴッホですら、広重に一度会いたい、日本に行きたいと思っていたが行けないので、日本の風景をスケッチし江戸の町を遊んだ気分になって楽しんでいました。



### 広重

浮世絵は全てが謎である。中右さんは写楽は18歳であったという本を書いている。写楽は220年前に突然登場し、役者絵を沢山描き、1年経たない間に消えてしまった。写楽の絵は今はベラスケスやレンブラントに匹敵すると言われるほど芸術性が高いが、当時は誰も見向きもしなかった。写楽の年齢、本名など一切わからない。NHKで版画家池田満寿夫さんが、写楽は役者の中村此蔵であるといい、梅原猛先生は当時から有名で役者絵を描いていた歌川豊国であるというが、忙しい豊国が写楽になるはずがないというのが一般の説であった時に、中右さんは「写楽は18歳であった」という本を書いた。写楽が現れる直前に17歳の少年絵師（鳥居清政）が天才的な絵を描いて発表していたが筆を折らされている。出版元の蔦谷重三郎が、鳥居家のお家騒動に巻き込まれて筆を折らされたことを可哀そうに思って、名前を変えて写楽にしたと考えた。この説は周りから非難轟々であったが、皆が認めた証拠と思った。桂三枝（文枝）さんから清政の話聞かせてくれという電話があり、1時間番組に出演した。三枝さんはNHKの中村此蔵説を信用していたが、清政という絵師がいてこのような推理は素晴らしい自分も写楽を研究すると言った。

1~2年後電話がかかり、写楽はオランダ人「シャーロック」だったというのはいかがでしようと言ってきた。背が高く鼻が大きい写楽の絵にはそういう説もあるが、それは面白くて落語のネタにはよいがどうかと答えた。フランキー堺も写楽が好きで、川島雄三映画

### ゴッホ



### 鳥居清政

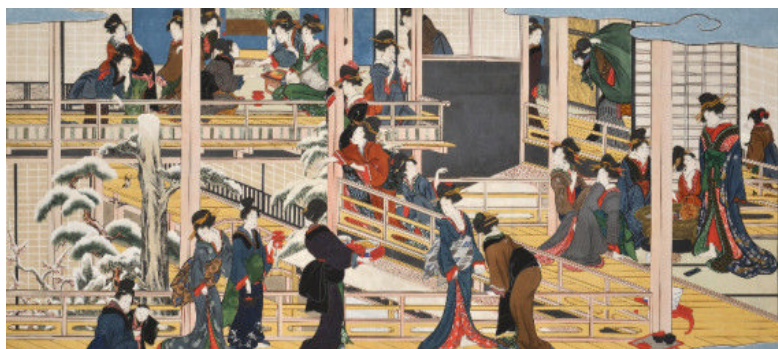


監督の幕末太陽傳で主演し、ブルーリボン賞をとった。川島監督はフランキー堺に写楽に似ていると言  
い、映画写楽を撮ると言ったが、監督は病気で亡くなった。フランキー堺は小説「写楽道行」を書き、  
映画にしたかったので篠田正浩監督に持ち込んだ。監督は、映画「写楽」の主役にはフランキーさんは  
年がとりすぎて難しいので小説の題材を少し変えると言った。写楽はトンボを切る歌舞伎役者だったが、  
フランキー堺さんには出来ないでしょうと言って、蔦谷重三郎の役を与えた。

(注)「トンボを切る」というのは、芝居の用語で、後ろ向きの宙返りである。

トンボを切ったのは真田広之。四国金毘羅さんの金丸座で撮影があり、中右さん夫婦もちょんまげをつ  
けて出演した。試写会で映画を見ることは出来たが、その直後阪神大震災が発生し、神戸は封切りが  
出来なくなり、震災が落ち着いた後、東京の映画館で観た。

他の絵師に関する謎は、歌麿はいつ  
生まれたかわからない。亡くなった時  
は有名人であったので記録は残ってい  
る。明治の人が、亡くなったのは53  
歳の時と思って「53歳歌麿死す」と  
書いた(宝暦3年生まれ)のが信じら  
れていた。過去帳を見たと言っていた  
がそこには年齢は書かれていなかった  
ので推測した年齢であることがわかり、  
最近では年齢不詳になっている。



歌麿「深川の雪」

最近、戦後まもなく行方不明になっていた歌麿の縦 2 メートル、横 3.5 メートルの巨大な肉筆の浮  
世絵「深川の雪」が 66 年ぶりに見つかったとの報道があった。これは幻の名作で「品川の月」、「吉原  
の花」(二作とも外国美術館所蔵)とともに、「雪月花」3 部作として歌麿肉筆画の三大傑作絵である。  
歌麿は埼玉県生まれになっているが確かではない。

北斎は 90 歳まで生き、名前を 30  
数回変えている。北斎の名前は 40 いく  
つつから 50 いくつまでの間の名前。  
北斎の名前だけ一般に通っているのは、  
北斎漫画のタイトルに「北斎」と書い  
たからである。80 歳になってから長  
野県小布施の高井鴻山の所に 4 回も行  
った。高井鴻山は学者で小布施の豪商  
で、北斎はそこで大きな岩松院の 21  
畳の天井画を残した。先日見に行った  
が今描いたような色が残っている。普  
通の絵具でなく高井鴻山はお金がある  
ので、中国から輸入した赤の宝石、青  
はメノウを潰して膠でつけているので、200 年経っているが変色していない。このようなものが残っ  
ていることに感激した。



岩松院天井絵「大鳳凰図」

北斎の娘で天才絵師と言われているお栄さんは、北斎の影武者と言われている。北斎が 80 歳を超え  
ても依頼があるので娘が描いて印を押している事が考えられる。東京の美術館にはそのような作品が沢  
山ある。同様の事は海外でも弟子が描いている絵が多数ある。

広重には山形県の天童藩に関係した天童広重という、殿様所蔵の肉筆画が明治の初めに沢山出てきた。殿様が所蔵していたというと箔がつくので、それは偽物と思われていた。よく調べると本物であった。東北は災害が多く、凶作になると食べていけず、天童藩の江戸屋敷が燃えたのでお金を都合するために広重に絵を200幅ほど描かせ、金持ちに献金してもらったお礼に贈った。この絵は天童物といって立派な絵として認められている。

#### 4. 地域瓦版

12月21日(日)冬の三国志会特別講演が三国志交流ガーデンで開催されます。10月13日に中止になった講演がリベンジ三国志祭として登場します。講師は兵庫高校OBの菅澤博之さんです。テーマは黒田官兵衛と諸葛孔明、司馬懿、参謀の生き方です。16時半から18時までです。当日は13時から親子人形劇三国志やゲーム大会などのイベントもあります。

12月7日(日)には、鉄人広場で9時~16時まで、第36回くつつこまつりが開催されます。

12月4日(木)~15日(月)まで神戸ルミナリエが開催されます。阪神淡路大震災の犠牲者の鎮魂と都市の復興と再生への夢と希望を託し1995年12月に始まった神戸ルミナリエも今年で20回目を迎えます。今回は初回と同じ神戸夢と光をテーマに数々のきらびやかな光の芸術が展開されます。

神戸ルミナリエを今後も続けていくため、会場に行かれた方は100円募金に是非ご協力ください。

中右 瑛さんの展覧会、兵庫県公館県政資料館「2013年度 地域文化功労者文部科学大臣表彰記念中右 瑛 抽象アート展—ミラクル・ブルー 男の嘆きの詩—」が12月13日まで開催されています。

浮世絵で今一番人気は国芳だそうです。作品が少なくなってきたおり、外人が購入し店頭から消えているそうです。



シエリト・リンド 20号

2013年度 地域文化功労者文部科学大臣表彰記念

## 中右瑛・抽象アート展

— ミラクルブルー 男の嘆きの詩 —

2014.10.17(金)~12.13(土) 9:00~17:00 入場無料  
(土10:00~16:00 日祝休館)

ゆうかりに乾杯の過去の放送音声と文書化した放送概要は、下記URLで視聴いただけます。

<http://yukari.hyogo.jp/>